

令和6年度シラバス

教科	科目	単位数	履修学年・クラス
総合的な探究の時間	総合的な探究の時間	1	3-1~3-A

1. 学習の到達目標

キャリア教育の観点から総合的な探究の時間を主に「キャリア教育の時間」と位置づける。
 自己の将来像や生き方、具体的な進路開拓に向けての課題を発見し解決するための、資質・能力を育成し、「新しい時代に対応する力」を身につける。

2. 学習の計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
1 学 期	<p>ENAGEED 教材使用 vol.7 距離を把握し、挑戦する力 ◇Lesson 01 「力を身につける力」 ◇Lesson 02 「距離を把握し、現在地を捉える力」</p> <p>○人権教育(ビデオ学習) 進路について学び自己決定する。</p> <p>面接について学ぶ。 進路について学び自己決定する。 基礎学力の向上を目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ENAGEED で学習する意義を理解する。 vol.7 では、これまでに学んだ力を生かして、実際に挑戦をしていくときに役に立つ考え方を学ぶ。 統一応募用紙がなぜ生まれたかを学習し、就職時の差別事象が起きないように人権意識を高める。 一般常識テストを実施し、常に学習する環境を作るとともに、問題に慣れさせる。 vol.7 の Lesson03 では、挑戦しながら失敗・成功を繰り返し、経験を重ねることの大切さを学ぶ。
2 学 期	<p>就職・進学準備をする。 高校生活を総括し生活を充実させる。 進路体験を発表する。</p> <p>○自己理解</p>	<ul style="list-style-type: none"> 就職者は、試験解禁を前にしての準備をし、進学者は募集要項等の研究をする。 学校行事に積極的に参加しクラスの一員としての自覚を持ち協力し、社会人に必要な資質の向上に努める。 高校生活を充実するための工夫をする。 進路決定した生徒の体験を発表させ、未決定生徒の参考にする。 人権意識を高める講演を聴き差別の不当性を知る。 進路を決めた後の気の緩みを防ぐ為、卒業後の生活を考慮しつつ、今なすべき事を考える。・体験活動を通して自己の適性に気づき、主体的に進路決定への道筋を立てる取り組みへとつなげる。
3 学 期	<p>進路ガイダンス (校長・進路主任・学年主任)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 社会人として求められるものは何かを考える。 これからの在り方、生き方を学ぶ。

3. 評価方法

評価方法	授業に対する積極的な参加・態度による。 (教科科目のように点数によるものではなく文章による評価)
------	---

4. 使用教科書・副教材

使用教科書	なし
副教材	ENAGEED CORE